

# かしわ林だより No.1

## ついにエコ・パワー風車 巨大な姿を現す！

10月12日(木)、石狩湾新港工業団地の小樽側、ライジングサン・ロックフェスティバル会場として使われている空き地にエコ・パワー(株)の石狩湾新港風力発電所の大型風車、3300kW・2基の組立が完了、高さ140mの巨大な姿が出現しました。さっぽろテレビ塔147mに匹敵。ブレード直径112mは新幹線の車両4台分余り。電気系統等の工事が完了すれば試運転開始。今年中の可能性もあります。

この風車のブレードは道々手稲石狩線の花川北防風林がぶつかる辺りで見え、さらに、コープさっぽろ石狩店や道銀が並ぶ通りでは、花川北中前から真正面にナセルとブレードを見ることが出来ます(下の写真)。普通の街並に現れた異質な構造物。何をもちたらすのか気がかりです。



3000kW級の大型風車は、欧州では健康被害や景観等の問題から、何10kmも沖の洋上でなければ建設できません。日本では、国が風車から

の低周波音等による健康被害を認めていないことから、全国各地で陸上に3000kW級、4000kW級の超大型風車建設計画、それも何十基も立ち並ぶウインドファーム計画が目白押しとなっています。このままでは、山がちな狭い日本では、遠くへ届く大型風車からの低周波音等により、被害者が大量発生すると思われる。

以下9月下旬からの建設現場レポートです。

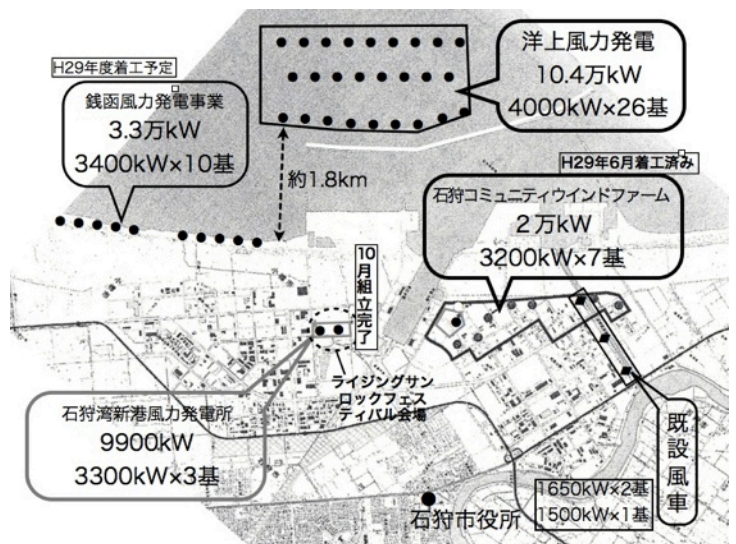
9月25日(月) エコ・パワーの風車建設、もう始まっていました。24日入港した船の積み荷が風車の可能性ありということで、石狩湾新港西埠頭へ見に行く途中、建設現場を通りかかったら、ナセルの乗ったタワーがニョッキリ！ 1号機はブレードが取り付けられる部分(ハブ)をつり上げているところ。2号機はタワー1段目が設置され、次の2段目と思われる巨大円筒パーツがトレーラー(?)に乗せられたままそばに置かれていました。ハブはクレーンでつり上げられ、ナセルと合体。どんどんできていきます。ブレードは現場に見当たらず、まだ港にありました。

西埠頭に行くと、すぐに長いブレード1本が目に入りました。船が接岸している埠頭には、ハブが、遠くの船に近い所には、2号機のタワーの残りの部分と、ブレード5本が置いてありました。これでパーツが全部そろったこととなります。24日の前に一度荷揚げされ、今回2度目の荷揚げで完了ということだったのででしょうか。兎に角どんどん工事は進んでいきます。

10月5日、2号機もタワーが建ち、ナセルも設置済みでした。根本にブレードが置かれており、これから1・2号機のブレード設置へと工事は進んでいくようです。組み立てが完了し、電気関連の工事が終われば、試運転です。今のうちに現況値の測定をしなければなりません。周辺事業所も対策をとっていると良いのですが、健康被害等、何かあった時にものを言うために必要になります。それと、何かあったときに、エコ・パワーにきちんと対応してもらうための協定締結も必要です。カシワ海岸林の海側では、建設中の北電LNG火発の集合煙突?(1~3号機の3本の排気筒がコンクリート円筒の中に立ち並ぶことに)が見えます。カシワ林上を通る高圧送電線による電磁場、3300kW大型風車2基から出る騒音・超低周波音・低周波音、送電鉄塔と風車に取り付けられる航空標識灯により、カシワ林の生態系はだめになるでしょう。

建設された風車のメーカーや規格等

- ・ Vestas社製 V112-3.3MW
- ・ タワー：84m ブレード：56m
- ・ 高さ：140m



石狩湾新港周辺で建設中・計画中の大型風力発電4事業

## 試運転が始まる前にしておきたいこと

・騒音（低周波音・超低周波音も含めた）の現況値、暗騒音を把握すること。

→当会では、超低周波音も測定できる精密騒音計を購入し、測定を開始しました。

・エコ・パワーと何かあったときにきちんと対応するよう約束させる協定を交わすこと。

→一般住宅において何かあった時に備えたいと考えています（石狩市を介して行う必要あり）。工業団地事業所においても、風車との距離を考えると協定を交わす必要があると思います。

## エコ・パワーの問題点

環境影響評価書に記載されたパワーレベル値（風車の大元での周波数毎の音の大きさを示す値で、距離が離れた所で音の大きさがどのくらいになるか計算するのに必要）が常識では考えられない異常な低値でした。2016年9月3日付けで、北海道自然保護協会、銭函海岸の自然を守る会と当会の連名で経産省へ公開質問状を送付。確かに低すぎるので事業者を確認するとのことでしたが、海外メーカーからデータを取り寄せるのに時間がかかり、2017年3月22日に回答を受領。パワーレベル値は少し上昇したが騒音・超低周波音ともに問題なしという結果に。しかし、当会はパワーレベル値の提示がないので信用していません。今回のことから、国（風力発電は経済産業省と環境省）がやっている環境影響評価は信頼できないことが分かりました。

## VESTAS社製風車による健康被害例

オーストラリアのニュース番組

ABC Today Tonight (2012.6.4) から

オーストラリア南部のウォータールーという小さな町を中心から約3km程離れたところにVestas社製風車（V90-3MW：ブレード直径90m、定格出力3000kW）、37基が建設され、多くの住民に健康被害（耳が痛い、不眠、イライラする、胸が痛い、めまい、夜中にパニック発作等）が発生。町から出ていく住民が増えゴーストタウンと化し、ニワトリは黄身のない卵を産むようになり動物にも影響が出ました [YouTubeで視聴可→<http://youtu.be/NofhxcsmtVA>]。

オーストラリア政府関係機関はこの風車群による健康被害を認めておらず、さらに風車の増設が行われました。アデレード大学等の研究者はこの風車群から4kmの地点で超低周波音・低周波音を検出、冬期の大気が安定した時にはより遠くへ伝搬するという報告をしています。

## 石狩市民の会主催月例学習会

・報告「石狩市内既設風車から発生する超低周波音・低周波音の実態」

10月15日（日）に山田大邦氏（日本科学者会議北海道支部大規模風力発電問題研究会）から、放水路風車から発生する超低周波音等が2kmまで届いているという測定結果の紹介がありました。

## ・予告「大型風車の試運転を控えて～私たちがしなければならないこと～」

工業団地に完成した3300kWの大型風車2基の稼働に伴い、もたらされる様々な影響について学びます。

◆日時：11月19日（日）13：30～15：30

◆場所：花川北コミ（石狩市花川北3-2）2階 視聴覚室 ☎0133-74-6525

◆講師：安田秀子（日本自然保護協会自然観察指導員）

◆参加費：300円

## さっぽろ自由学校「遊」主催連続学習会

「このままでいいの？ 再生可能エネルギーの進め方—大型風力発電を中心に」（全6回）開催中  
詳細は <http://www.sapporoyu.org>

## 当会ホームページ（HP）もご覧ください

URL <http://windterbin.lbcc-alumni.jp>

・風車建設中止を求める署名を集めています。HPから用紙印刷可。当会事務所宛郵送していただくと幸いです。

・会員募集中です。

・この度、騒音計と解析ソフト一式を約80万円で購入。こちらへのカンパも集めています。ご協力よろしくお願いたします。

郵便局間振込口座 記号:19050 番号:51503381  
他銀行からの振込口座 店名:九〇八 店番:908

預金種目:普通預金 口座番号:5150338

なまえ：石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会

## 編集後記

「かしわ林だより」第1号です。もっと沢山のの人に、日々変化する石狩湾新港周辺4事業のことも含め、大型風力発電事業の問題点を知ってほしいと思っています。当会HPでも見ることが出来ます。タイトルの「かしわ林」、明治期に本州からの開拓移民団が入植する前から、この石狩海岸一帯に樹海を作っていました。強風が吹く石狩において、早くから防風林として伐らずに守られてきました。逆に防風林があるから現在でも、私たちの暮らしが成り立ってきました。特に、石狩湾新港工業団地はその恩恵を受けているといえます。今、工業団地周辺では4事業者による46基の大型風車建設事業が進行しています。建設されればカシワ林とその周辺の砂丘草原の生態系は崩壊します。カシワ林はどのように私たちを見ているのでしょうか。石狩海岸の歴史を見守ってきたカシワ林に敬意を表し、この通信のタイトルとしました。最低月に1度程度、建設工事の状況や当会の活動の様子等、お知らせしたいと思います。（石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会 代表 安田秀子）